

# ナショナルレセプトデータベース 利用研究と今後の動向について ー薬剤疫学研究の観点からー

關 真美

島根大学医学部医学科医療情報学講座

## ナショナルレセプトデータベース(NDB) 提供の背景

- 平成18年医療制度改革
  - 厚生労働省が行う調査、分析に用いるレセプト情報・特定健診等情報データベース構築
  - 平成20年「医療サービスの質の向上等のためのレセプト情報等の活用に関する検討会」
- 平成22年～
  - 「レセプト情報等の提供に関する有識者会議」
- 平成24年
  - 第1回サンプリングデータセットの提供申出結果が公表

# サンプリングデータセットを用いた 併用禁止医薬品等の処方実態研究

- 目的

- サンプリングデータセットを用いて、我が国における併用禁止医薬品等の処方実態を把握すること

- 方法

- 平成23年10月診療分の医科入院外レセプト及び紐づけられた10～11月分調剤レセプトを用いた

3

# サンプリングデータセットを用いた 併用禁止医薬品等の処方実態研究

- 結果

- 医科入院外レセプト755,247人のうち、543,506人(72.0%)が薬局にて調剤をされていた
- 内服薬併用投与がある431,873人のうち、添付文書上の併用注意、原則併用禁忌及び併用禁忌がある者はそれぞれ204,067(47.3%)、946(0.2%)及び275人(0.1%)であった

關ほか. 医療情報学 2014 (In press)

4

# サンプリングデータセットを用いた 併用禁止医薬品等の処方実態研究

- 結果(続き)

- 併用注意

- 高齢者において増加し、循環器疾患用薬、糖尿病用剤、精神神経系用剤が上位を占めた

- 原則併用禁忌

- 高脂血症用剤

- 併用禁忌

- 循環器疾患用薬、精神神経系用剤、片頭痛治療薬、金属イオン含有製剤、抗真菌薬、マクロライド系抗生物質、免疫抑制剤などが上位を占めた

關ほか. 医療情報学2014 (In press)

5

## 研究実施をふまえて

- データの制限が多い

- 短期間のデータ

- 個人を特定可能な他のデータベースとのリンケージ不可

- 調剤レセプト以外は処方日が不明

- 現在のデータ提供の動向

- その他

6